

# ♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2017年10月～11月前半 ♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718

いよいよ芸術の秋本番になりましたね！♪今月もコンサート大充実です。11月8日には企画担当西野による「コンサート選びのヒント講座」(入場無料)も予定。それぞれのコンサートの聴きどころをご紹介します是非お越しください♪

【文責:宗次ホール企画担当 廣田 政子(ひろた まさこ)】

厳肅さと官能のはざま、もしくは痛みと喜びの間…  
そんな繊細な心をあぶりだし、共鳴させる  
(フィガロ紙/フランス)

パブロ・マルケス ギター

10月30日(月)18:45開演 3,500円(学生2,100円) [指定]



4歳の頃から、レコード・プレイヤーの横から離れないほどに音楽が好きで、8歳の時からギターを習い始めたというマルケスさん。

「NeuGuitars」というサイトに掲載されていた『無人島に5

枚だけCDを持って行くとしたら、何を選ぶ?』という質問へのマルケスさんの回答が興味深かったのでご紹介します!「いやー、自宅に1000枚近くCDがあるから、持って行きたい500枚、なら選べるんだけどね、難しい!(笑)」と前置きをされつつも、

1. ビル・エヴァンス—Alone
2. ディノ・サルーシ、ロザムンデ四重奏団—Kultrum
3. エグベルト・ジスモンチ—Alma
4. ディヌ・リパッティ—プレイズ・シヨパン
5. クルターグ・ジェルジュ—jatekok

を挙げていらっしゃいます。ギターのCDが一つもないことに意外性を感じつつ、様々な音楽を幅広く聴いていることがマルケスさんの豊かな音楽性に繋がっているようにも感じられます。「マルケスが画家だったとしたら、その筆使いはもちろんのこと、パレット・ナイフ(パレットの上で絵具をこねたり削り取る為の薄いナイフ)の達人であっただろう…柔軟性のない金属を用いながらも、限られたキャンバスの中で柔らかい色味を見事に混ぜ合わせ、美しい構成をつくり上げる…そんな芸術家」と表現されています。是非お聴き逃しなく!

信じられない才能。様々なマレットから自由自在に生み出す、驚くべき色彩とニュアンスは格別

(LAタイムズ)

名倉 誠人 マリンバ

11月6日(月)18:45開演 3,500円(学生2,100円) [指定]

今回、名古屋で初のソロ・リサイタルとなる名倉さん!「現代によみがえる古典」と名付けられたこのツア



ーでは、音楽(バッハ)、文学(枕草子)に啓発された音楽作品を演奏されます。

委嘱作品(作曲家がオファーを受けて作曲した作品)を多く演奏されている名倉さんですが、1994年以來アメリカで演奏家として生き延びてこられたのも、自分のために書かれた作品のおかげ、と仰います。…聴衆としてコン

サートに足を運ぶ時には“委嘱作品”って初めて聴く曲であることが大半ですから、少し「難しいかな」と身構えてしまいませんか?ですが名倉さんがおっしゃるには「(何百年も前に書かれた)古典の作品を演奏するクラシックの演奏家にとって、ペンを五線紙に落とす最初の段階から創造に関わることは、稀な機会。しかし、その段階から関わることで、学べることが非常に多い」とのこと。確かに、バッハもベートーヴェンも、作曲した本人がもう生きていないので、「この箇所は本当はどういう風に弾くべきなのか…?」と聞くこともできず、全て演奏者の解釈に任されるわけですが、名倉さんは「作曲家がどんな過程を経て音符を書くか、そして演奏家との関わりを経てどの程度作品を改訂していくかを目の当たりにすると、古典の作品を見る時も、見方が変わってくる」と仰います。

長くなってしまいましたが、名倉さんがご自身のブログで綴られていることが大変興味深かったので、引用させていただきます。

「年齢を重ねてきてからは、躍動感あふれる超絶技巧を追究するのは、もう良いな、という気持ちになってきた。ピアノの演奏会に行っても、ピアノの極致に行くような技巧的な作品を聴くよりも、ブラームスやヤナーチェクの小品を聴いた時の方が心が動かされる。自分の演奏会の時にも、“すごく手が速く動きますね”と言われるより、“あなたの演奏を聴いて涙が出た”と言われるほうがずっと嬉しい。一体何回『熊蜂の飛行』を弾いてきたことかわからないが、ああいうことをして人を驚かせるのも、そろそろやめにする時期にきているのかもしれない。しかし、ここにも大きな壁がある。ギミック(演奏上の仕掛け)や運動性に頼らず、人の心を動かせるだけの作品が、これまでどれほどマリンバや打楽器のために書かれてきたであろうか。そう考えると、今後も、新曲委嘱活動を重ね、優れた作品を少しでも多く生み出していくことしかないのだ、という思いが心に迫る。」

宗次公演では、作曲家の方を交えて、演奏会前のトークを予定しておりますので、プログラムが倍、楽しめること間違いなしです!

6つ星!!5つ星を超す6つ星レビュー!その説得力、繊細さ、目が覚めるほどのテクニック。なぜこのグループが世界のトップを走り続けるのか。演奏をもって、その理由を見せつけてくれた。(ユトランド新聞/デンマーク)

## ヘンシエル弦楽四重奏団

11月9日(木)18:45開演 4,500円(学生2,700円)【指定】



ドイツの正統派カルテット、ヘンシエル。日本にも度々来日して演奏活動を行う傍ら、幼稚園に出向いて演奏をしたり、身寄りのない世界中の子供たちを助ける活動も行っています。毎年、収入の1%を寄付し、聴衆の減少・高齢化が度々問題視されるクラシックの世界についても、「(聴衆が)少なくなっていくということは、そこに新しいものが入るスペースが在る、ということよ。」と前向きな視点で語ってくれるのはヴィオラのモニカさん。家族やきょうだいによるアンサンブルは珍しくはありませんが、「グループで演奏旅行に行けるということは、いつも自分の演奏を客観的に聴いてくれる人がいて、自分がやっていることについて意見をくれる存在が居るということ。もちろん、それが嫌になることもあるかもしれないけれど(笑)」とお話されます。

前述したとおり、若い世代への音楽普及活動も積極的に行っている彼らが、「ストラド誌(英)」に向けて行った「若い音楽家へのアドバイス」が興味深かったので、ご紹介いたします。

1. リハーサルの中には、舞台から降りて、客席で他の演奏家の演奏を聴きましょう。聴衆視線での耳を育てることが理想です。
2. 速い楽章において、長い音価の音は生き生きと生命力を感じられるように、緩徐楽章では短い音価の音は決して駆け足にならないように。
3. 演奏する時には、自分の人生全てをそこにかけたいつもりで、弾きましょう。演奏家自身がそこで創られている音楽のドラマに100%没頭せずして、聴衆と真のコミュニケーションを計ることは出来ません。
4. 今の時代、演奏家も演奏以外のスキルを持つ必要があります。例えば音楽祭の企画やファンの方との交際術、CDのリリース等。やってみたいことがあるならば、実現させましょう。誰かが動いてくれるまで、待っていないで!

彼らの音楽に対する姿勢は、音楽鑑賞を楽しむ上でも、大きなヒントとなりそうです。「重々しい程の力強さと、空気のような軽さ。作品の対極的な面をこれ程までに美しく表現することができるカルテットを、他に知らない!」(LAタイムズ紙)と評される演奏を聴きにいらして下さい!

## お得なスイーツタイムコンサート ¥2,000

13:30開演 自由席 ※終演15:00予定

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)AB列中央付近23席限定

スイーツタイムコンサートは、これからクラシック音楽を聴いてみたい、昼間に本格的な演奏を楽しみたい、という方にぴったり。国際的に活躍する演奏家から気鋭の若手まで、2,000円ではお得すぎる素晴らしい演奏家達です!

10月19日(木) はれとゆき

伊藤 晴(ソプラノ) / 杉山 由紀(メゾ・ソプラノ)  
矢崎 貴子(ピアノ)



藤原歌劇団で活躍中の伊藤晴さん(写真左)と東京二期会で活躍中の杉山由紀さん(写真右)によるデュオコンサート!華やかなオペラからの名曲をお届けします。

三重県出身の伊藤さんはマリア・カラスの「トスカ」のCDを聴いてその情熱的な世界に衝撃を受け、ミラノに留学を決意。日本オペラ協会の2017年シーズンでは「夕鶴」で主役つうを歌い、モーストリークラシック誌でもおすすすめアーティストに選出!「舞台の上で人物が生きているように歌いたい」とお話されます。一方、杉山さんも今まさに売出し中の若手看板メゾ・ソプラノ。「オペラや歌曲の物語の世界にお客様を引き込んでいける歌手になりたい。オペラのズボン役(男装する女性歌手の役柄)を全役制覇すること、大好きなマーラーの歌曲を全曲制覇することが私の目標!」と今後益々の活躍が期待されるお二人。期待大のコンサートです♪

11月7日(火) ヴィクター・ローゼンバウム  
(ピアノ)

是非、聴いて頂きたいコンサートです。派手さはないかもしれませんが。新鋭ピアニスト達のように技巧的でもありません。ですがボストン・グループ紙が「ローゼンバウムの演奏の魅力。それはベルベットの肌触りにも似た音の中に絶妙に絡み合う情熱と優しさ…彼の音楽性である」と評する、知られざる素晴らしい演奏家です。指導者としても高く評価されている方で日本国内の主要音大にも度々招かれ、彼のレッスンやマスタークラスを受けてその音楽性に惚れ込み、アメリカ留学を決めている日本の音大生もかなりの数。今年で76歳の師。人生を重ねているからこそその深みのある演奏を、ご期待ください。次の日に名古屋音楽学校さんにて公開講座も予定されています♪

●記載公演いずれもチケットございます!●

チケットのご予約・お問い合わせは  
宗次ホールチケットセンターへ

☎ 052-265-1718